



## 10月26日： 流動性の低下とともに下落

昨日（10/26）は両市場とも流動性の低下とともに下落した。

ホーチミン市場では、午前中はプラスで推移したものの、後場に入り下落に転じた。VN指数は前日から0.44%下落し、993.36ポイントで引けた。

同指数は前日、4日続落の後、緩やかに反発して引けていたが、週初から2.6%の下落となつた。

投資家の弱気姿勢は、前日に比べて売買代金で8兆ドン（3億25百万米ドル）、出来高で4億48百万株と、約40%低下した流動性の低さに表れている。

ビングループ（VIC）、ビンホームズ（VHM）、ビンコムリテール（VRE）、ノバランド（NVL）、ファットダット不動産（PDR）、ベカメックスIDC（BCM）などのブルーチップが軒並み売られ、不動産銘柄が大きく下落した。うちビンコムリテール（VRE）の下落幅が3.5%と最も大きく、VIC、VHM、PDRも2%台の下落と続いた。

加えて、ビグラセラ（VGC）、ホアファット（HPG）、サイゴンビール（SAB）などの大型株も軟調で、相場の重しとなつた。

反対に上昇銘柄では、マサングループ（MSN）が4%上昇するなど相場を牽引した。BIDV銀行（BID）、PVガス（GAS）、輸出入銀行（EIB）、バオベト（BVH）、VPバンク（VPB）、アジア商業銀行（ACB）、FPTグループ（FPT）なども上昇したが、上昇幅は1%未満だった。

ロンベト証券によると、短期的なサポートラインである960ポイント付近で売り圧力は低下し、相場にも反発圧力が形成される。しかし、1,000-1,010ポイントの心理的な水準が強力な抵抗線となっていることから、指数がこの水準に近づくと流動性が高まることからもわかる通り、後場の下落につながつたと見ている。

これは売り圧力が依然として市場に重くのしかかっており、現在のサポートラインは明確なものではなく、VN指数が1,000-1,010ポイントの抵抗ゾーンに入ると再び弱気に転じるリスクがあることに注意すべきであると、同証券のアナリストは述べている。



ハノイ市場では、HNX指数は6日続落し、前日から1%下落し205.95ポイントで引けた。同指数は10月18日から9%下落した。

出来高は45百万株、売買代金も6,240億ドンと、前日から約40%急減した。

---

### ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようにお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。